

## 第6回 元気隊交流会

2016年6月26日

福岡県のがん患者会・サロン、19 団体が参加し、ふくふくプラザを会場にして交流会が行われました。

開会に先立ち、

ご来賓として

福岡県健康増進課 砂田様、

同地域医療課 永嶋様、

九州がんセンター相談支援センターより竹山様のご挨拶をいただき

交流会はスタートしました。



元気隊代表 波多江伸子さんの講義

午後のグループワークに先立ち、元気隊代表 波多江伸子さんより

「がん患者会の現状とこれから」について講義があり患者会の生い立ち、役割、現状についてわかり易く説明があり、

個々の考えをまとめる為に有意義な講義となりました。

その後、各団体の自己紹介・昼食などをはさみ、

午後はグループに分かれて

活発な意見交換が行われました。

## グループワーク議題は

### 1. 患者会の運営について

- 運営者の高齢化問題、会員減少、次世代へのバトンタッチ
- 会費・助成金など運営資金の問題

### 2. これからのがん患者会について

- 患者会に必要なもの
- 患者会の連携について

### 3. 社会的資源の活用について

- インターネットの検索方法も含めて
- 相談支援センターの現状と望むもの
- 国、県、市など行政に望むこと



グループワークの様子

その後、各グループの代表者によって発表がありこれらの意見をまとめこれらの意見を今後の患者会の活動に積極的に活かしていく方針で閉会となりました。

福岡県には数多くのがん患者支援団体がありそれぞれの団体が日々、少しでもがんという病で苦しんでいる人々の心の拠り所として努力をしているということを知る良い機会になりました。また、このように横のつながりの重要性を改めて認識させられる有意義な会となりました。

文 久富淳子